

Psa

Chapter 66

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

לְמַנְצֵחַ שִׁיר מְזֻמָּר הִרְיעוּ לְאֱלֹהִים כָּל־הָאָרֶץ׃ 1
指揮者-に 講 歌 叫べ 神-に すべての 地-よ
H5329 H4210 H7321 H0430 H3605 H0776

聖歌隊の指揮者によってうたわせた歌、さんび 全地よ、神にむかって喜び呼ばわれ。

זָמְרוּ כְבוֹד־שָׁמוֹ שִׁמּוֹ כְבוֹד תְּהַלְתּוּ׃ 2
ほめ歌え 栄光-を 置け 栄光-を 賛美-の
H2167 H8034 H3519 H8416 H3519

そのみ名の栄光を歌え。栄えあるさんびをささげよ。

אֱמְרוּ לְאֱלֹהִים מַה־נּוֹרָא מַעֲשֵׂיךָ בָּרַב עֲזִידִי יִכְתָּשׁוּ לְךָ אֹיְבֶיךָ׃ 3
言え 神-に なんと 畏るべき 御業-は 大いなる 力-に-より へつらう あなた-に 敵-は
H0559 H0430 H4100 H3372 H4639 H7230 H5797 H3584 H0341

神に告げよ。「あなたのもろもろのみわざは恐るべきかな。大いなるみ力によって、あなたの敵はみ前に屈服し、

כָּל־הָאָרֶץ יִשְׁתַּחֲוּוּ לְךָ וַיִּזְמְרוּ לְךָ לְךָ אֲנִי הִלְלֵהוּ יִזְמְרוּ שָׁמְרָה סֵלָה׃ 4
地-は すべて 神-に ひれ伏す あなた-に ほめ歌う あなた-に ほめ歌う セラ 御名-を
H3605 H0776 H7812 H2167 H8034 H5542

全地はあなたを拝み、あなたをほめうたい、み名をほめうたうであろう」と。[セラ]

לָכוּ וִירְאוּ מִפְעֻלֹת אֱלֹהִים נּוֹרָא עֲלֵיכֶם וְיָרְאוּ בְנֵי אָדָם׃ 5
来て 見よ 御業-を 神-の 畏るべき わざ-が-ある 人-の 子ら-に-対して
H3212 H7200 H0430 H3372 H5949 H0120

来て、神のみわざを見よ。人の子らにむかってなされることは恐るべきかな。

הַפֶּה יִתְּפֹךְ וַיָּם לְבַשְׂתָּהּ בְּנָהָר יַעֲבְרוּ בְּרַגְלָם שָׁם נִשְׂמְחָה בּוֹ׃ 6
変えられた 海-を 乾いた-地-に 川-を 渡った 徒歩-で そこ-で 喜んだ 主-を
H2015 H3220 H3004 H5104 H7272 H8033 H8055

神は海を変えて、かわいた地とされた。人々は徒歩で川を渡った。その所でわれらは神を喜んだ。

מִשְׁלַ וּבְנִבְרָתוֹ עוֹלָם עֵינָיו בְּגוֹיִם תִּצְפְּנֶנָּה וְהַסּוֹרְרִים אֶל־ 7
治めておられる 力-で 永遠-に 目-は 諸国-を 見張っておられる 背く-者たち-よ 決して
H4910 H1369 H5769 H0430 H5637 H0408

יְרִימוּן (יָרוּמוּ) לָמוּ סֵלָה׃
高ぶるな 自ら-を 一 セラ
H5542

神は大能をもって、とこしえに続べ治め、その目はもろもろの国民を監視される。そむく者はみずからを高くしてはならない。[セラ]

בָּרְכוּ וְעַמִּים אֱלֹהֵינוּ וְהַשְׁמִיעוּ קוֹל תְּהַלְתּוּ׃ 8
たたえよ 民-よ われらの-神-を 聞かせよ 賛美-の 声-を
H1288 H0430 H8085 H8416

もろもろの民よ、われらの神をほめよ。神をほめたたえる声を聞えさせよ。

הַשֵּׁם וְנַפְשׁוֹ בְּחַיִּים וְלֹא־נָתַן לְמַוֵּט רַגְלָיו׃ 9
 魂-を 置いてくださる-方 命-の-中-に 滑らせない 一 足-を よろめく-こと-に
[H5315](#) [H5315](#) [H5414](#) [H3808](#) [H7272](#) [H4132](#)

神はわれらを生きながらえさせ、われらの足のすべるのをゆるされない。

כִּי־בַחֲנֻתָנוּ אֱלֹהִים צֻרְפָּתָנוּ כַּצֶּרֶף־כְּסֶפֶר׃ 10
 なぜなら 試された 神-よ 精錬された 精錬する-ように 銀-を
[H0974](#) [H0430](#) [H6884](#) [H6884](#) [H3701](#) [H6884](#)

神よ、あなたはわれらを試み、しろがねを練るように、われらを練られた。

הַבְּאֲתָנוּ הַבְּמַצִּוְתָהּ שָׂמַתְּ מוֹעֵקָה בְּמַתְנֵינוּ׃ 11
 導かれた 網-に 置かれた 負担-を 腰-に
[H0935](#) [H4157](#) [H4975](#)

あなたはわれらを網にひきいれ、われらの腰に重き荷を置き、

הִרְכַּבְתָּ אָנוֹשׁ לְרֹאשׁוֹ קָאֵנוּ־לָאֵשׁ וּבְמַיִם יְתוּצִיאָנוּ לְרֹוּחַ׃ 12
 乗せられた 人-を 頭-の-上-に 入った 火-に 水-に 導き出してくださった 潤い-に
[H7392](#) [H0582](#) [H0935](#) [H0784](#) [H4325](#) [H3318](#) [H7310](#)

人々にわれらの頭の上を乗り越えさせられた。われらは火の中、水の中を通った。しかしあなたはわれらを広い所に導き出された。

אָבּוֹא בֵּיתְךָ אֶמְצֵא בְּעוֹלוֹת אֲשֶׁלֶם לְךָ נִדְרֵי׃ 13
 入ります 家-に を-もって 全焼の-いけにえ-を 果たします あなた-に 誓い-を
[H0935](#) [H5088](#)

わたしは燔祭をもってあなたの家に行き、わたしの誓いをあなたに果します。

אֶשְׂרֹ-פָּצוּ שְׂפָתַי וּדְבַר־פִּי בְצַר־לִי׃ 14
 開いた 唇-が 語った 口-が 苦しみの-中-で 一
[H6475](#) [H8193](#) [H1696](#) [H6310](#)

これはわたしが悩みにあったとき、わたしのくちびるの言い出したもの、わたしの口が約束したものです。

עֲלֹת עֲתוּדִים סְלָה׃ מְחִים אַעֲלֶה־לְךָ עִם־קִטְרֹת אֵילִים אֲעִשֶׂה 15
 全焼の-いけにえ-を 肥った-もの-を 全焼の-いけにえ-を あなた-に ささげます 雄羊-の 香-の と-共に ささげます
[H4220](#) [H5927](#) [H7004](#)

בָּקָר עִם־עֲתוּדִים סְלָה׃ 16
 牛-を と-共に 雄山羊-を セラ
[H1241](#) [H6260](#) [H5542](#)

わたしは肥えたものの燔祭を雄羊のいけにえの煙と共にあなたにささげ、雄牛と雄やぎとをささげます。[セラ

לָבוֹ־שָׁמְעוּ וְאִסְפְּרָה כָּל־יִרְאֵי אֱלֹהִים אֲשֶׁר עָשָׂה לְנַפְשִׁי׃ 16
 来て 聞け 語ります すべての 畏れる-者たち-よ 神-を こと-を なされた 魂-に
[H3212](#) [H8085](#) [H3605](#) [H3373](#) [H0430](#) [H5315](#)

すべて神を恐れる者よ、来て聞け。神がわたしのためになされたことを告げよう。

אֱלֹו־פִי־קָרָאתִי וְרוֹמֵם תַּחַת לְשׁוֹנֵי׃ 17
 主-に 口-で 呼びかけた 崇め-が 舌-の 下-に
[H0413](#) [H6310](#) [H7121](#) [H7318](#) [H8478](#) [H3956](#)

わたしは声をあげて神に呼ばわり、わが舌をもって神をあがめた。

אֲוֹן־אִם־רָאִיתִי בְּלִבִּי לֹא־וַיִּשְׁמַע אֲדַנִּי׃ 18
 悪-を もし 見たなら 心-に 決して 聞かれない 主-は
[H0205](#) [H7200](#) [H3808](#) [H8085](#) [H0136](#)

もしわたしが心に不義をいただいていたならば、主はお聞きにならないであろう。

תְּפִלָּתי׃	בְּקוֹל	הַקְּשִׁיב	אֱלֹהִים	שָׁמַע	אֲכֹן	19
祈り-の	声-に	心-を-留められた	神-は	聞かれた	まことに	
H8605		H7181	H0430	H8085	H0403	

しかし、まことに神はお聞きになり、わが祈の声にみこころをとめられた。

מֵאתִי׃	וְחַסְדּוֹ	תְּפִלָּתי	הִסִּיר	לֹא־	אֲשֶׁר	אֱלֹהִים	בְּרוּךְ	20
私-から	恵み-も	祈り-を	退けなかった	一	決して	神-は	ほむべきかな	
H0854		H8605	H5493	H3808		H0430	H1288	

神はほむべきかな。神はわが祈をしりぞけず、そのいつくしみをわたしから取り去られなかった。